作成日 01/01/2025
改訂日 01/01/2026

安全データシート

1. 化学品および会社情報

1.1. 製品名

化学物質名称	PCR Enzyme Mix
製品コード	/
製品番号	530-000365-00, 530-000387-00, 1000019370, 1000019067

1.2. 供給者の詳細

供給者の会社名	MGI Tech Japan 株式会社
住所	〒104-0044 東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー 35F
電話番号	03-6260-6398
ファックス番号	03-6260-6399
電子メールアドレス	MGI_JAPAN_SUPPORT@mgi-tech.com

1.3. 化学品の推奨用途

試薬

2. 危険有害性の要約

2.1. GHS 分類

物理的化学的危険性	なし
健康に対する有害性	急性毒性（経口）、区分 4, H302：飲み込むと有毒； 皮膚腐食性／刺激性、区分 2, H315：皮膚刺激； 特定標的臓器毒性（単回暴露）、区分 1（中枢神経系）， H370：臓器の障害（中枢神経系）。
環境に対する有害性	なし

2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H302：飲み込むと有毒； H315：皮膚刺激； H370：臓器の障害（中枢神経系）.

安全対策

応急措置	P260 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 P264 : 取扱い後はよく洗うこと。 P270 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P280 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
対応	P301+P310 : 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 P302+P352 : 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 P332+P313 : 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。 P362+P364 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管	P405 : 施錠して保管すること。
廃棄	P501 : 内容物／容器をに廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量：

成分/薬品表示	CAS 番号	重量%	GHS 分類	注意
水	7732-18-5	88%-98%	--	/
グリセリン	56-81-5	1%-10%	--	/
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	75-57-0	1%-10%	化審法官報整理番号　2-186 日化辞番号　J44.416B	/
その他	--	残量	--	/

4. 応急措置

4.1. 応急処置

一般的な措置	疑わしい場合、もしくは症状が持続するときは医師の診断を受けること。意識のない者には口から何も与えないこと。
吸入した場合	患者を空気の新鮮な場所に移し、暖かくして休息させること。呼吸が不規則であったり停止した場合は、人工呼吸を行うこと。意識がないときは呼吸しやすい姿勢にして,医師を呼ぶこと。口から何も与えないこと。
目に入った場合	まぶたを大きく広げて、大量の清浄な水で最低１０分間洗い医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱ぐこと。水と石鹸もしくは承認された洗剤で皮膚を十分に洗うこと。溶剤やシンナーを使用しないこと。

飲み込んだ場合	飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けること。安静にし、無理に吐かせないこと。

4.2. 最も重要な兆候及び症状

注意事項	具体的な症状データは利用できない。 対症療法 詳細はセクション 2 参照
吸入した場合	情報なし
目に入った場合	情報なし
皮膚に付着した場合	情報なし
飲み込んだ場合	情報なし
慢性効果	情報なし

4.3. 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示
情報なし、対症療法。

---

5. 火災時の措置

5.1. 適切な消火剤
耐アルコール泡、炭酸ガス、粉末、スプレー水。 噴射水は禁止。

5.2. 火災時の特有の危険有害性
危険な分解：分解データなし
熱/火花/裸火/高温面などの着火源から遠ざけること – 禁煙
容器を密閉しておくこと。
冷所に置くこと。
容器および装置を接地すること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器, 機器を使用すること。
火花を発生しない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

5.3. 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
すべての火災と同様に、完全な覆面部と防護服で、肯定的な圧力、自己完結型の呼吸装置 (SCBA) を着用してください。呼吸保護のない人は区域を去るべきである。火災直後の清掃時に SCBA を着用してください。禁煙です。

---

6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
適切な個人保護機器を着用する(セクション 8 参照)

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯すること。

6.2. 環境に対する注意事項
流出が排水溝や水路に入らないようにしてください。

6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材
現場を換気し蒸気を吸わないようにする。 セクション 8 記載の個人保護対策を取る。
砂、土、バーミキュライトなどの不燃性材料で飛沫を吸収する。屋外の密閉容器に入れ廃棄物規則に従って廃棄する。(セクション 13 参照).
できれば洗剤で洗浄する。溶剤は使わない。
飛沫を排水や水路に入れない。
排水、下水、河川や湖沼が汚染されたら、すみやかに地域の水道会社に連絡する。河川、湖沼が汚染された場合は環境保護庁にも連絡する。
二次災害防止策：情報提供なし。

6.4. 二次災害の防止策
緊急連絡先情報については、セクション 1 を参照してください。
適切な個人用保護具については、セクション 8 を参照してください。
追加の廃棄物処理情報については、セクション 13 を参照してください。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い
破損や漏れを防止するために容器を注意深く扱うこと。
詳細についてはセクション 2.2 参照

7.2 保管
禁忌配合物質: 情報なし
詳細についてはセクション 2.2 参照

---

8. 暴露制御および保護措置

8.1. 許容濃度
この製品には、危険として分類される成分、および/または GHS カットオフ率を超える危険成分が含まれていません。

8.2. 保護具及び設備

呼吸器の保護	濃度が上記の暴露限界を超えたときは、作業員は国際基準で承認された適切な呼吸用保護具を着用しなければならない。可能ならば、排気設備なども備えること。

目の保護具	保護眼鏡を推奨。
皮膚及び身体の保護具	皮膚への接触を避けてください。皮膚への接触を避けること。保護手袋を推奨。
設備対策	適当な通風設備を備えること。実用的には局部排気設備と良好な一般排気設備で目的が達成される。これらの設備で粒子や蒸気の濃度を職業暴露限界以下に維持できなければ、適切な呼吸器保護具を着用しなければならない。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外見	無色 液体
臭い	無臭
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点/凝固点(° C)	情報なし
初留点および沸点範囲(° C)	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
可燃限界または爆発限界	爆発下限: 情報なし
	爆発上限: 情報なし
蒸気圧(Pa)	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重（密度）	情報なし
水溶解性	で水に溶け
分配係数 n-オクタノール/水（Log Kow）	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度(cSt)	情報なし
VOC 含有量	情報なし
酸化特性	情報なし
爆発性	情報なし

9.2. その他の情報

他の関連する情報はありません

10. 安定性及び反応性

10.1.　反応性

危険な重合は発生しません

10.2.　化学的安定性

通常の状態で安定

10.3.　危険有害反応可能性

情報なし

10.4.　避けるべき条件

引火点を超える温度を避けてください。 互換性のない材料との接触。

10.5.　混触危険物質

情報なし

10.6.　有害な分解生成物

分解データなし

11. 有害性情報

11.1.　急性毒性

急性毒性

成分	経口 LD50, mg/kg	皮膚 LD50, mg/kg	吸入エアーLC50, mg/L/4hr
グリセリン	27200	27500	56750
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	47	500	情報なし

11.2 発がん性物質データ

項目	区分	危険有害性
急性毒性(経口)	4	飲み込むと有毒；
急性毒性(経皮)	---	区分外
急性毒性 (吸入)	---	区分外
皮膚腐食性/刺激性	2	皮膚刺激；
眼損傷性/眼刺激性	---	区分外
呼吸器感作性	---	区分外
皮膚感作性	---	区分外

生殖細胞変異原生	---	区分外
発がん性	---	区分外
生殖毒性	---	区分外
特定標的臓器 全身毒性（単回暴露）	1	臓器の障害（中枢神経系）
特定標的臓器 全身毒性（反復暴露）	---	区分外
吸引性呼吸器有害性	---	区分外

12. 環境影響情報

12.1. 生態毒性

この製品に関する追加情報はない。化学詳細データについてはセクション 3 参照。

水生生態毒性（急性）

成分	96 時間 LC50 魚（mg/L）	48 時間 EC50 の甲殻類（mg/L）	ErC50 藻類（mg/L）
グリセリン	885	1955	2900
テトラメチルアンモニウム＝クロリド	462	3.6	30

12.2. 残留性と分解性

製品固有のデータは情報なし

12.3. 生体蓄積性

情報なし

12.4. 土壌中の移動性

情報なし

12.5. PBT および vPvB 評価の結果

この製品は、PBT/ vPvB 物質の化学物質が含まれていません。

12.6. 他の有害性

情報なし

13. 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 このデータシートの情報を用いて、当地の廃棄物規制当局から特別な廃棄物規制が適用されるかどうかアドバイスを受けること。

14. 輸送上の注意

国連番号	情報なし
正式輸送名	制限を受けません
輸送時の危険性クラス	情報なし
容器等級	情報なし
環境有害性	情報なし
海洋汚染物質	情報なし
使用者のための特別予防措置	情報なし

15. 適用法令

消防法	非該当
毒物および劇物取締法	非該当
労働安全衛生法（SDS 対象物質）	非該当
労働安全衛生法（57 条表示物質）	非該当
労働安全衛生法：特定化学物質等障害予防規則	非該当
労働安全衛生法：製造禁止有害物	非該当
化学物質排出管理促進法(PRTR 法)	非該当

16. その他の情報

この安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

巻末